

領内出張所だより

95

梅雨の華

瑞々しい

平成30年  
(2018年)





## 暮らしのなかで

電池が発明される以前は懷中に灯りを携帯するなんて考えられないことでした。それまではロウソクや燃料に火をつけて利用していたのですから、扱いにくかったらうなと思います。暴風時や地震直後に大火が発生する主な原因は“生”の火だったようです。現在でもそれは変わらず、「放火」「たばこ」「コンロ」が火災の出火3大原因となっています。

懷中電灯が登場したことで火災の原因となるものがひとつ減ったと言えます。喫煙者がかなり減少していたり、オール電化によってIHヒーターに取って代わったりと、火災発生件数を抑制する要因がさらに増えて良い傾向にあります。



日々の暮らしのなかで備えとしても存在感を放つ懷中電灯、自身所有しているものが結構明るいと思っていたのに現在市販されているものと比べるとかなり暗いことが判りました。ほとんどが電球タイプから発光ダイオード（LED）仕様になっています。実際いろいろ試してみた結果、すごく明るいとまではいきませんがしっかりと照らしてくれました。旧来の懷中電灯用にと交換LED球が売られてはいますが、明るさや器具の安全性を考慮するとLEDライトを新規で購入することをお薦めします。

明るさを追求するとどうしても電池の消耗が激しくなりますが、防水タイプは降雨の際に安心して使用することが出来ますし、スクーバダイビング用の水中ライトは遠くまで光が届き、ともに量販店で買い求められる商品よりパワーが強くて明るいです。また、乾電池を充電出来る電池に替えたり、充電電池に差し込むだけで使えるタイプのライトを用意しておくのも備えとして効果的です。“いつもの”だから置いてある場所も判るし安心して使えます。

そなえ たくわえる  
備蓄 6 つのこと



明るいほうが 安心！安全！



電池が充分か確認しておきましょう！



## 使いながら備える

そなえ たくわえる  
備蓄 6 つのこと

個人的には普段の生活において、夜間に犬の散歩に出たり川に魚を獲りに行ったりと毎日のように懐中電灯を使用する時期がありました。すると電池が消耗してくるのがはっきりと判ります。けれども、たまに使うと“こんなものかなぁ”といった具合になりがちです。いざとなった時に使えないと困るので、日々夜間に点灯させてチェックしておきましょう。



多機能ヘッドライト  
(充電式)



水中用ヘッドライト  
(電池式)



携帯型ヘッドライト  
(カプセルタイプ)



ソーラーパネル付ランタン  
(折り畳み式)



アウトドア用ランタン  
(充電式)



普段は使わないけれど、あると便利なのはヘッドライトです。これを装着すると両手が自由になります。しかし、本格的なのは結構重いですし、カプセルタイプのはちょっとしたお守り程度なものもあります。備えるなら試してからご購入してください。

屋内の各部屋を全体的に照らすのに最適なのが電池式のランタンです。特にアウトドア商品を製造するメーカーのものは屋外でも天候に関係なく使えたりしますし、携帯電話などの充電が可能なタイプもあります。懐中電灯と一緒に“いつもの”に加えてみてはいかがでしょうか。



夜間や暗所での不安は  
“灯り”を備えて取り除きましょう



次号は『飲料』についてのお話です。



# 今月の備忘録

忘れていませんか？

今月 15 日に大台町から

町民税・県民税

(普通徴収)

固定資産税

国民健康保険税

の通知が送られました。

**税務課からの封筒(角2型)**が届いていたら、その中に課税通知が入っています。

第1期(6月期)もしくは全期(一括納付)の納期限は **7月2日** です。

税金は役場各窓口や各金融機関・コンビニ等で納期限までに納めてください。

口座振替の手続きをされている方は **7月2日** に引き落とされますので  
確認をお願いします。



昨年度までの封筒より  
小さくなりました

中身を必ず確認して  
大切に保存してください

問い合わせ：役場税務課 82-3784

あじさい

紫陽花(あじさい)がいろいろな花を咲かせています。土や肥料のやり方によって色が変化すると聞いたことがありますが、調べてみると複雑すぎて育てるのは私の手に負えません。路傍の紫陽花がどのくらい手が掛けられているか判りませんが、姿形や花の咲かせ具合は各々違います。鎌倉のこの時期の「あじさい寺」は観光客で賑わいます。雨が降っていても大勢の方がカラフルな傘をそれぞれ差して、まるで紫陽花のようです。この近くだと多気町の丹生大師あたりがたくさんの花を鑑賞出来る場所でしょうか。花を巡って歩く、花を口実にして自身を外に連れ出す、たまには日常と違うことをしてみるのもよいのではないかと思います。咲き方はみんなそれぞれだけれども、「みんなちがって、みんないい」(金子みすず)のたとえ紫陽花が語り掛けてくれているようにです。